（留 意 事 項）

　　　（１）　「履歴書」（様式１）及び「業績目録」（様式２）の記入に当たっては，

　　　　　　別添「履歴書記入例」及び「業績目録記入要領」を参考にしてください。

　　　（２）　応募に当たっては，他大学の教員選考に**応募されているか否か**について，

　　　　　　お知らせください。

併せて連絡先（住所，電話（携帯等），メール）もお知らせください。

様　式　１

|  |
| --- |
| **履　　　　　　歴　　　　　　書** |
|  |  |  | **生年月日** |  |
|  |  |  男 ・ 女 |  | 昭和　 年　 月 　日生（　　才） |
|  |  |  | **（年齢）** |  |
|  |  |
| **現　 　住 　　 所** |  |
|  |  |
| **学歴・資格等** |
|  | **事　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　項** |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| **略　　　　　　 　　　　　　　　　歴** |
|  | **事　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　項** |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |
|  | **事　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　項** |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
| **賞　　　　　　 　　　　　　　　　罰** |
|  | **事　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　項** |
|  |  |
|  |  |
|   |
|  平成　　　年　　　月　　　日 |
|  氏　名 （自署） 印 |
|  |

様式　２

|  |
| --- |
| 教　育　研　究　業　績　書平成　　年　　月　　日氏名　　　　　　　　　　　　　印 |
| 類別及び番号 | 著　　　書　　　名（論　文　記　載　順） | 著書・学術論文等の題名及び発行所・発表雑誌等名（巻，初～終頁） | 発行・発表年（発表場所） |
|  |  |

 注）１．類別は，Ⅰ原　著，Ⅱ症例報告，Ⅲ総　説，Ⅳ著　書，Ⅴ学会報告，Ⅵ公的研究助成金，Ⅶその他の順とし，各類別ご　　　　とに，発表年順に記入してください。

 ２．著者名は，全員の氏名を記載順に記入し，本人の氏名にアンダーラインを付してください。

　　　３．学位論文は，番号を○で囲んでください。

|  |
| --- |
| 様式　３ |
| 教育，研究に関する実績氏　名　　　　　　　　印　　 |
| 教育に関する実績 |
|  |
| 研究に関する実績 |
|  |

|  |  |
| --- | --- |
| 様式４ |  |
| 研 究 助 成 一 覧（氏　　名）　　　　　　　　　印　　 |
| 番号 | 研究費名 | 研究課題名および交付金額 | 取得年 |
| ○研究代表者として採択されたもの |
| 　 |
| ○研究分担者として採択されたもの（代表者名と分担金が配分されたものは分担金額を記入） |
| 　 |

　注）研究費名は，○○省科学研究費△△研究，○○省□□研究助成金、○○財団△△研究助成金等の種類別に記入し，研究分担者として採択されたものについては，研究代表者名と分担金が配分された場合には分担金額を記入すること。直接経費のみ記入すること。

様式５

分子病理学講座助教就任に当たっての抱負

|  |
| --- |
| 　＊（教育，研究等についての抱負を記載すること） |
|  | 　　　　　　　　　（氏　　名）　　　　　　　　　　 |
| 　　 |

推 薦 書

|  |
| --- |
| （様式６） |
| 候 補 者 の 所 属 及 び 職 名 | 氏　　　名  |
| 　 |  |
| 昭和　　　年　　　月　　　日生 |
|   |
| 　 |
|
|  平成 年 月 日 |  |  |
| 推薦者の職・氏名 |  | 印 |
|  | ※ 推 薦 者 の 自 筆 署 名 |  |

（記入例）様式１

|  |
| --- |
| **履　　　　　　歴　　　　　　書** |
|  |  |  | **生年月日** |  |
|  |  |  男 ・ 女 |  | 昭和　 年　 月 　日生（　　才） |
|  |  |  | **（年齢）** |  |
|  |  |
| **現　 　住 　　 所** |  |
|  |  |
| **学歴・資格等** |
|  | **事　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　項** |
|  |  |
| 昭和○○年○○月○○日 |  ○○大学○○学部○○学科卒業 |
|  〃 ○○年○○月○○日 |  ○○大学大学院○○学研究科○○課程入学 |
| 平成○○年○○月○○日 |  同○○課程修了（所定の単位を取得し退学した場合には単位取得退学と記入する。） |
| 昭和○○年○○月○○日 |  △△免許証下付（登録番号第○○○○○号） |
| 平成○○年○○月○○日 |  修士（□□）の学位授与　（◇◇大学） |
|  〃 ○○年○○月○○日 |  博士（□□）の学位授与　（◇◇大学） |
|  |  |
| **略　　　　　　 　　　　　　　　　歴** |
|  | **事　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　項** |
| （例１） |  |
| 昭和○○年○○月○○日 |  ○○大学医学部附属病院において研究に従事（○○年○○月○○日まで） |
|  〃 ○○年○○月○○日 |  ○○大学医学部附属病院　医員（研修医）に採用（第一内科） |
|  〃 ○○年○○月○○日 |  同辞職 |
|  〃 ○○年○○月○○日 |  文部科学教官○○大学助手（医学部附属病院）に採用 |
|  〃 ○○年○○月○○日 | ○県立○○病院○○科医長となり現在に至る |
|  |  |
| （例２） |  |
| 昭和○○年○○月○○日 |  ○○大学医学部附属病院において研究に従事（○○年○○月○○日まで） |
|  〃 ○○年○○月○○日 |  ○○大学医学部附属病院　医員（研修医）に採用（第一外科） |
| 平成○○年○○月○○日 |  ○○大学医学部附属病院　医員に配置換 |
|  〃 ○○年○○月○○日 |  文部科学教官○○大学助手（医学部）に採用 |
|  〃 ○○年○○月○○日 | アメリカ合衆国○○研究所において研究に従事（研究休職） |
|  〃 ○○年○○月○○日 | 復職し現在に至る |
|  |  |
|  |
|  | **事　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　項** |
| 平成○○年○○月○○日 |  日本○○○○学会会員 |
|  〃 ○○年○○月○○日 |  日本○○○○学会○○・○○地方会会員 |
|  |  |
| **賞　　　　　　 　　　　　　　　　罰** |
|  | **事　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　項** |
| 平成○○年○○月○○日 |  日本○○学会奨励賞受賞 |
|  |  |
|   |
|  平成　　　年　　　月　　　日 |
|  氏　名 印 |
|  |

１．業績目録は，次のように分類する。

　　Ⅰ　原　　著

　　Ⅱ　症例報告（剖検例など）

　　Ⅲ　総　　説

　　Ⅳ　著　　書（分担執筆も含む）

　　Ⅴ　学会報告

　　Ⅵ　公的研究助成金（研究代表者であるもの）

　　Ⅶ　そ の 他（啓蒙的な解説，紹介，図説，研究助成金報告書など）

２．その他

 (1)　研究分野が多岐にわたる際には，原著，総説は，内容に従って大きく分類し，それぞれにタイトルをつけて配列することが望ましい。

 (2)　原著，症例報告，総説の記載に当たっては，特に，次のことに注意する。

①　著者名は，論文と同じ順に全員を記入する。ただし，多人数にわたる場合は，一部省略してもよい。

②　表題は省略せずに記入する。

③　ページは初ページ及び終ページを記入する。

④　欧文業績について，in press と記入するものは，正式にacceptされたものだけである。

　なお，必要ある場合には，原稿もしくは校印刷のコピーを求めることがある。

 (3)　著書も分担執筆の際は，分担項目を明らかにすることが望ましい。

　（業績の取り扱い）

Ⅰ　原　　著　：　原著とは独創的な実験，観察などについて最初に印刷公表したものであって，方法，結果，考察，総括などの形式をとるものをいう。

 　注１）　シンポジウムの Proceeding などで，ほぼ全文が印刷される場合は，総説または原著に加えるが，学会報告の抄録は原著に加えない。

 　注２）　速報，予報，短報などはこの形式をとらないこともありうる。速報，予報が，後で本論文として，さらに公表された場合はその関係を注）で明らかにする。

 　注３）　邦文で既発表または，発表予定のものを欧文で発表したときは，その対応関係を注）で明らかにする。

 　注４） 速報，予報の場合及び欧文発表の場合を除き，ほぼ同一の研究結果は，重ねて原著として発表されるべきではない。もしも解説，紹介，啓蒙のために再び紹介が行われた場合は，解説，紹介に分類されるべきである。

 　注５）　原著は，編集者，レフリーにより批判的に選択される学会誌またはこれに準ずるものに掲載されたものをいう。ＰＲ誌に発表される論文は，原著と認められない。

Ⅱ　症例報告など　：　症例報告，剖検報告，治験報告は，この分類に従う。

 　注１）　多数例の解析及び少数例であっても，研究的解析を伴うものは，原著に入れる。

 　注２）　「臨床講義」のように，教育啓蒙的なもの，及び「○○教室１０年間の○○症例」のようなものは，むしろ，次の総説・紹介に入れるべきである。

Ⅲ　総説・紹介など　：　あるテーマについての総説，展望及び自己または自教室の研究結果につい　　　　　　　　　ての総合的紹介は，この分類に従う。

 　注１）　シンポジウムの記録は，ほぼ全文が印刷公表されている場合は，この分類に従う。もしも，抄録のみのときは，学会発表として取り扱う。

Ⅴ　学会報告　：　国内の全国規模の学会の特別講演，シンポジウム，宿題報告及び国際学会発表以　　　　　　　外は省略する。

Ⅵ 公的研究助成金　：　文部科学省科学研究費や厚生労働省科学研究費などの公的研究助成金で研究代表者である

　　　　　　　　　　　　もののみ，研究費名，研究課題名，交付金額，取得年を記入する。

Ⅶ　 ：　特に重要なもの以外は省略する。

|  |
| --- |
| （記入例）様式　３ |
| 教育，研究に関する実績氏　名　　　　　　　　印　　 |
| 教育に関する実績 |
| 〇〇大学において・・・・・・・・・を担当している（していた）。（講義、実習等を過去の実績も踏まえて記載する。また講義等に限らず関わってきた内容があれば記載する。更にこれらの教育現場を通じて学生に指導する際、心がけてきたこと、または重点を置いて学ばせようとしていたことがあれば記載する。）その他にも・・・・・・・を指導してきた。（研修医・医員等に対して行なってきた指導実績や大学院生に対しての教育、学位取得のための研究指導等の実績があればそれらも記載する。）※本学や大学等の教育機関での勤務経験がない場合には、現在までに在籍した機関において、研修医、実習生等の臨床指導及び実習等に携わってきた教育経験などを記載すること。 |
| 研究に関する実績 |
| （専門とする研究分野について記載する。また現在までに行なってきた研究、実験の具体例を挙げ、その研究結果や経過、今後の課題等について記載する。） |
| 診療実務に関する実績（臨床系のみ） |
| 現在まで・・・・・・・・などを中心に診療（担当）している。（診療や手術においての専門としてきたこと、又は担当、関わってきた内容を記載する。）平成〇〇年度には・・・・・・・・を行なった。（外来診療、手術等の近年の実績等を記載し、特筆すべきことがあれば詳細を記載する。）またその他にも・・・・・・・等を精力的に取り組んでいる。（本学や現在の所属機関に限らず地域、他病院等で携わっていることがあれば、それらも記載する。） |

（記入例）様式５

〇〇学講座（又は診療科等名）〇〇（職名）就任に当たっての抱負

|  |
| --- |
| 　＊教育，研究，診療（臨床系のみ）などについての抱負を記載すること） |
|  | 　　　　　　　　　（氏　　名）　　　　　　　　　　 |
| 　　※以下記入例　〇〇学講座（又は診療科等名）〇〇（職名）就任に当たり、以下のことに取り組んでいきたいと考えています。教育においては，・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・研究については，・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・診療においては（臨床系に限る）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（診療・教育・研究において，現在までに取り組んできたことから今後取り組みたい内容等を記載する。それ以外にも地域貢献や産学連携など，取り組もうとしていることがあれば記載する。）以上のことを踏まえつつ〇〇学講座（又は診療科等名）〇〇（職名）の職務を果たしていきたいと考えております。 |